

豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 20 年 3 月
第 14 号

豊田市では、日本環境安全事業株式会社が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

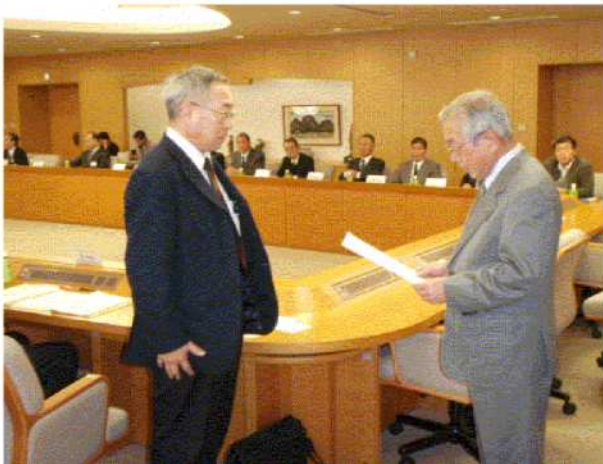
平成 19 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 19 年 12 月 17 日（月）午後 1 時 30 分から豊田市役所南 51 会議室において、平成 19 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には安全監視委員 13 名、環境省産業廃棄物課、オブザーバーとして愛知県資源循環推進課と豊田市消防本部、処理事業者の日本環境安全事業（株）（JESCO）が出席しました。また、2 名の方が委員会を傍聴されました。

委員会では市長より委員委嘱状の交付が行われました。また、委員長には名古屋大学大学院教授の松田氏が選出され、副委員長には竜神コミュニティ代表の太田氏が指名されました。

（委嘱された委員の方については、4 ページに記載してあります。）



【議事内容（要旨）】

1 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

豊田市から、前回の安全監視委員会（9 月 27 日）以降に実施した豊田 PCB 廃棄物処理施設や収集運搬作業における立入検査等について報告がありました。

PCB 廃棄物処理施設には 6 回の立入検査や報告徴収を実施し、収集運搬作業については 5 回の立入検査等を実施しました。

(1) 豊田 PCB 廃棄物処理施設の運転状況の確認について

- ・ PCB 排気濃度のオンラインモニタリングや施設内の負圧管理については適切に管理されており、特に問題はない。
- ・ 中央制御室での情報の伝達や運転管理の方法、受入作業や解体作業における危険予防の活動について適切に行われていることを確認した。

(2) 収集運搬事業に係る立入検査について

- ・ 初めて PCB 廃棄物を運搬する 3 社について作業状況を確認したところ、若干作業手順に不手際が確認されたので指導を実施したが、概ね良好に作業が行われていることを確認した。
- ・ 作業スペースの確保等が困難である小口保管者（保管台数 20 台未満）の収集運搬作業について 1 社確認したところ、それらの事項にも適切に対応していた。

(3) PCB 環境調査について

- ・ 8 月 13 日から 14 日にかけて、大気 2 地点、水質 2 地点、土壌 1 地点について定期の PCB 環境調査（夏季）を実施した。
- ・ 調査結果については、過去の調査結果と比較して目立った変動はなく、環境省が実施しているモニタリング調査の濃度範囲であり、問題はなかった。

(4) 豊田市内分の処理状況について

- ・ 豊田事業で処理対象としている主な PCB 廃棄物のコンデンサ約 6,000 台については 11 月末までに 3,173 台（約 52.9%）処理された。
- ・ 豊田事業対象物の市内の目標期限である平成 21 年 3 月までに処理されるよう引続き保管事業者に働きかけていく。

2 PCB 廃棄物処理施設の操業状況について

日本環境安全事業（株）から、全体の状況として豊田事業以外の 4 事業（北九州、東京、大阪、北海道）について操業状況等の説明がありました。また、委員が改選されたこともありましたので、操業開始からの処理実績や事故対策等の概要について説明がありました。

- ・ 全国で 5 事業の展開を予定しており、今のところ北九州、豊田、東京、大阪の 4 事業について操業を行っている。
- ・ 北海道については、来年度を目処に操業を開始する予定であり、北九州については、第 2 期施設を平成 21 年 3 月の完成に向けて建設中である。
- ・ 豊田事業の処理実績は、操業を開始してから平成 19 年 11 月末までに 141 トンの PCB を分解した。
- ・ 設備に対しては、施設内の気体や液体の流れを意識した総点検を実施し、問題箇所については対策を実施した。
- ・ 作業員に対しては「危険予知活動」や「ヒヤリ・ハット・気がかり」等による取組みによる危機意識の向上や事故発生の未然防止につながる取組みを行っている。
- ・ 運転管理課、安全対策室に加えて、改善工事等の管理を適切に行うために、当社で初めて設備保全課を設置した。
- ・ 日々の取り組みや操業状況等については「事業だより」やホームページ等を通じて広報活動を行っている。

【委員からの主な質問と回答】

《質問》：PCBのオンラインモニタリングで一時的に排出管理目標値を超えたとあるが問題ないのか。

《回答》：PCBを含む排気の処理のオイルスクラバーの後に監視する装置が付いており、その後でセーフティネットである2段の活性炭でさらに処理しているので問題ない。原因究明は実施したものの、発生回数もその1回であり、原因は不明である。

《質問》：環境調査の結果が環境省実施の調査結果の範囲内であるとのことだが、調査結果の範囲の中に入っていればよいものなのか。

《回答》：環境基準の設定があるものはそれと比較するが、設定のないものについては全国的な調査結果と比較している。濃度については、水質を例として基準が50万pg/Lであることを考えると、はるかに低い数字であり、異常がないと考えている。

《質問》：豊田施設の処理能力でPCB分解量が1日1.6トンとあるが、純PCB処理量と表しているが、何か相関はあるのか。

《回答》：施設の処理能力とは100%のPCBを受け入れた場合の処理能力であり、実際に処理をしているPCB濃度は20～30%であるため、処理能力もその程度である。

《質問》：市が実施している環境調査について、大気の調査地点の考え方は。

《回答》：豊田市内は北の方向の風が年間を通じて吹いているため、施設の風下である南側の地点を選定した。

《質問》：スタッフの数及び役割分担はどのようになっているのか。

《回答》：豊田事業所としての職員は28名おり、施設を運転している運転会社は125名体制である。豊田事業所は、総務課、営業グループ、安全対策室、運転管理課、設備保全課に分けられる。

《質問》：設備保全課を新たに設けた理由は。

《回答》：従来は運転管理課が施設の運転と設備保全を行っていた。運転会社や点検業者等に対して、明確な指示を出すには役割を分担した方が適切であると考えられたため。

【委員からの主な意見・要望】

- ・ 環境調査について、比較対照としてまったく関係ない地点を測定してはどうか。

豊田 PCB 処理安全監視委員会員の視察について

平成20年2月13日に、中部電力（株）絶縁油リサイクルセンター（名古屋市港区）の視察を実施しました。

中部電力（株）は自社で保管する柱上トランス（低濃度PCB汚染物）を処理しています。豊田施設は高濃度処理を対象としており、違いはあるものの豊田施設と同じ脱塩素化分解処理方式でPCBを処理するものとして共通する部分は多々あり、参考となる視察でした。

この視察で得られたものを今後の安全監視に活用していきます。



【豊田市 PCB 処理安全監視委員会委員】（◎:委員長 ○:副委員長）

周辺自治区の代表

	村瀬 稔	朝日丘コミュニティ
	佐藤 勇恵	逢妻コミュニティ
	今泉 隆夫	竜神コミュニティ
○	太田 忠良	竜神コミュニティ
	近藤 敏弘	若林コミュニティ
	大参 芳美	若園コミュニティ

公募市民

	浅野 智恵美	環境カウンセラー
	須賀 博之	技術士
	竹内 貞夫	会社員

周辺企業代表

	市原 和美	トヨタ自動車株式会社
	金子 孝博	大豊工業株式会社

学識経験者

◎	松田 仁樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
	渡邊 丈眞	中京大学体育学部教授
	森 秀樹	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
	井上 隆信	豊橋技術科学大学工学部教授

【豊田 PCB 廃棄物処理事業に関するお問合せ】

日本環境安全事業株式会社

豊田事業所

豊田市細谷町 3 丁目 1 番地 1

TEL : 0565-25-3110

FAX : 0565-24-0543

処理施設は見学ができます。
上記の連絡先でご予約ください。

日本環境安全事業株式会社

東京都港区芝 1-7-17

住友不動産芝ビル 3 号館 4 階

TEL : 03-5251-1017

FAX : 03-3592-5606

<http://www.jesconet.co.jp>



- ※ 安全監視委員会は傍聴ができます。詳しくは広報とよた等でお知らせします。
- ※ 安全監視委員会にて配布された資料は、市ホームページまたは日本環境安全事業(株)ホームページにて公開されています。

【連絡先】

豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

E-mail : k_hozen@city.toyota.aichi.jp

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae03.htm>

